



三浦市議会だより

第 101 号
 平成23年(2011年)2月1日
 編集：議会だより編集委員会
 発行：三浦市議会
 〒238-0298
 神奈川県三浦市城山町1番1号
 ☎ 046(882)1111内線462・463



1月16日に南下浦町区長会の新年もちつき大会が開催され、多くの来場者で賑わいました

第4回定例会

議員定数を削減 18人から15人に

TPP交渉への参加に反対する意見書を政府へ

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
11月29日	月	本会議	会期の決定、議案の審議（説明・委員会付託・採決）
		総務経済常任委員会	議案の審査
30日	火	本会議	議案の審議（総務経済委員長報告・採決）、一般質問
12月1日	水	本会議	一般質問
2日	木	本会議	一般質問、議案の審議（説明・委員会付託）
3日	金	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
6日	月	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
10日	金	本会議	議案の審議（総務経済・都市厚生の各委員長報告・採決）、議員提出議案（説明・質疑・討論・採決）、意見書案、閉会中継続審査申し出、報告

平成二十二年第四回定例会は、十一月二十九日から十二月十日までの十二日間を会期として開けられました。今定例会では、障害者通所施設整備に係る議案など、十六議案の審議を行いました。最終日には、本市議会議員の定数を三人減の十五人に改正する議案が議員より提出され、可決しました。

〈議会だより第101号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
常任委員会の審査	2面
陳情	2面
一般質問	3～6面
議会の活動から	6面
行政視察報告	7面
可決した意見書	7面
会派構成の変更	7面
議員定数条例の改正	8面
議案等の審議結果	8面
委員会の構成変更	8面
次回定例会の予定	8面

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

十一月二十九日の審査

◎平成二十二年度三浦市一般会計補正予算(第五号)

(質疑の主な項目)

・障害者通所施設の設置に当たっての、周辺住民からの理解と協力について

・市内三方所にある通所施設からの利用者の移行について

・市内の既存施設への通所人数と、今後の施設運営について

・新施設における将来的なサービス内容の拡大について

(委員からの意見)

・障害者通所施設の整備には、過去さまざまな経緯があったが、行政や関係者の苦労や努力で予算化に至ったことを評価する。施設の設置後も、行政の適切な指導のもとに、三浦市の福祉が向上することを期待する。

十二月三日の審査

◎三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例(委員からの意見)

・本議案提出の発端とな

った、国庫債券が未交付のまま保管されていたことについては、単純な事務処理への注意が欠けていたことが原因だと考える。今回の経緯を検証し、今後の行政運営に生かしてほしい。

◎三浦市消防団条例の一部を改正する条例

(質疑の主な項目)

・消防団員の現員数について

・消防団員の定数を削減する根拠について

・定数が減ることに伴う経費削減について

・消防団が災害警戒などを行う際の基準について

◎三浦市地域集会施設条例等を廃止する条例

(質疑の主な項目)

・地元区への施設譲渡に伴い懸案とされてきた、土地の所有権に関する協議について

◎平成二十二年度三浦市一般会計補正予算(第六号)

(質疑の主な項目)

・再商品合理化拠出金について

・年末年始におけるごみの自己搬入について

・地方債の借りかえにより削減が見込まれる利

都市厚生

◎損害賠償の額の決定について

(質疑は特にありませんでした)

◎平成二十二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)

(質疑の主な項目)

・国庫支出金返納金の内訳について

・医療費の現況について

・医療費の抑制には、特定検診の受診率向上が必要であり、全庁的な取り組みをしてほしい。

・後期高齢者医療制度は高齢者には厳しい制度であることから廃止を求めている。本議案に後期高齢者支援金が計上されていることは望ましくないと考える。

◎平成二十二年度三浦市老人保健医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑は特にありませんでした)

◎平成二十二年度三浦市

後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第一号)

(質疑の主な項目)

・本会計における職員数減少の理由と今後の人員配置について

◎平成二十二年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第一号)

(質疑の主な項目)

・高額介護サービス等費などの増額理由について

・介護サービス費の支給申請から支給までの手続と期間について

・介護サービス等諸費の内訳について

・市内の介護施設数について

(委員からの意見)

・高額介護サービス費に係る制度については、他市の事例を参考にホームページへの掲載内容を検討するなど、より市民が理解しやすい周知をしてほしい。

◎平成二十二年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)

・資本費平準化債の借入れによる、一般会計からの繰入金への影響について

・資本費平準化債の利率と交付税措置について



新たに提出された陳情

◎住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める陳情書

趣旨 本陳情は、住民の安心・安全を守るため、国の出先機関の廃止などにより行政サービスが低下することがないよう求める意見書を国に提出することを求めています。

◎TPP交渉参加反対に関する陳情

趣旨 本陳情は、農業の衰退や食料自給率の低下を招くTPPの交渉に参加しないよう求める意見書を国に提出することを求めています。

◎医療税制の存続と診療報酬への消費税のゼロ税率適用とする意見書提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、地域医療確保の観点から、現在の医療税制の存続と、診療報酬への消費税のゼロ税率の適用を行うよう求める意見書を国に提出することを求めています。

◎平成二十三年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情書

趣旨 本陳情は、本市において平成二十三年度も引き続き重度障害者医療費助成を行うことを求めています。

◎平成二十三年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情書

趣旨 本陳情は、本市の平成二十三年度予算に移動困難者に対する支援措置を盛り込むことを求めています。

◎大幅増と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求める陳情書

趣旨 本陳情は、安全で行き届いた医療・看護・介護の拡充のため、医師、看護師、介護職員の大幅増と、医療・介護職員の労働条件の改善を求める意見書を国に提出することを求めています。

常任委員会での陳情の審査結果

12月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて51件について、総務経済、都市厚生の各常任委員会において審査を行いました。

今回、審査を終えた陳情は次のとおりです。

そのほかの45件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
総務経済	住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める陳情書	了承できるもの
	TPP 交渉参加反対に関する陳情	〳
都市厚生	医療税制の存続と診療報酬への消費税のゼロ税率適用とする意見書提出を求める陳情	〳
	平成 23 年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情書	〳
	平成 23 年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情書	〳
	大幅増と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求める陳情書	〳

一般質問

質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。今定例会では、十四人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。



財源確保に全力投入を

企業誘致、人件費の見直し
フォーラムみうら 石原 正宣

だけでなく、二十三年度以降に実施を目指す取り組みについても検討している。

質問 三浦市を財政再生団体等に陥らせないためには、財源確保に全力を注ぎ、有効な財源対策を見出さなければならぬ。

平成二十二年九月に設置した財源対策検討委員会は、極めて重要な組織と認識しており、その取り組みに期待している。

市長 委員会は、市の財政健全化に向け、あらゆる財源対策の検討を行うために設置した。

財源対策は、二十三年度予算に反映させるもの

質問 さらなる営業の拡大

二町谷地区への企業誘致は、歳入確保のための重要な施策であるが、この経済不況下においては一朝一夕には進まない。

今後、さらなる営業拡大が必要不可欠だと感じるが、どのような企業誘致策を考えているのか。

市長 これまでは神奈川県や、市の企業誘致課のネットワークにより企業と接触してきた。今後は、さらに多くの

職員給与の見直し

本市の財政健全化のため、歳出削減は不可欠であり、その中でも、人件費の見直しは確実性が高い取り組みである。

職員給与の見直しについて、本市の取り組み状況は、

市長 職員給与については、土地開発公社解

散プランにおける歳出削減策の中で、国家公務員並みに見直すとしている。

職員給与の見直しは、歳出削減の観点だけでなく、給与を職員の職務と責任に応じたものとする

ことを目指しており、現在は、来年度からの給与見直しに向け、職員労働組合と交渉を重ねている。



財政健全化の取り組みは

障害者地域作業所

職員雇用、三崎高校跡地
みうら市政会 出口 眞琴

質問 障害者自立支援法の施行により、障害者地域作業所は法人化が求められている。

市内四カ所の作業所のうち、一方所は法人化されたが、残る三カ所の作業所は現状のままでの継続は難しい状況にある。作業所の今後について、市の対応を伺いたい。

市長 地域作業所は、障害者の社会生活を促進するための重要な社会資源であると認識している。法人化については、利

用者の動向などをしながら、作業所の統廃合も含めて、引き続き関係者と協議をしてまいります。

市長 通所施設では、作業所から移行してくる利用者のために、作業所職員であった方の雇用枠を設ける用意があると聞いている。

質問 四月に障害者福祉の重要な拠点となる障害者通所施設が開設される。利用者が通所施設に移ることに伴い、運営をやることなどを、通所施設の事業者と協議しているのか。

また、市内の雇用対策としての地元雇用について、お聞きしたい。

定使用している。

暫定使用の期限について、市の考えを伺いたい。

市長 (仮称) 市民交流拠点整備事業に具体的に着手し、建物等を除却するまでは、現在と同様に使用していきたい。

また、利用者の送迎等には、運転技術に自信のある市内の方の雇用を考えると確認している。



暫定使用をしている三崎高校跡地

市民協働の取り組み

介護予防、学校図書整備
日本共産党 立本 眞須美

質問 本市は、土地開発公社の解散に伴い、長期にわたり緊縮財政となる。

この厳しい時期を乗り越えるには、これまで以上に行政と市民が知恵と力を出し合う必要がある。

市長 現在行われている、みうら市民まつりやスカベンジ活動など、市民協

働による地域活動は、他都市にまさる三浦の大きな特色である。

今後は、既存の取り組みとあわせて、新たな市民活動が広がるように、行政が後押しする施策を行っていききたい。

質問 高齢化が進む中、介護予防の視点が重要になり、予防施策の充実が求められる。

市長 本市では、高齢者が元気で暮らせるように、



昨年のみうら市民まつりの様子

子供を守る体制づくり

病気の早期発見、早期治療

公明党 藤田 昇

※は欄外に説明を記載

質問 全国で、いじめが要因の一つと思われる自殺が相次いでいる。

いじめは、いじめるほうが一〇〇%悪いということを常に確認していくことが大事である。

市長 本市の小中学校での、いじめへの対応を伺う。

教育長 いじめ等の問題行動には、多くの人や機関がかかわって手だてをとることが必要である。

本市では、スクールカウンセラーの配置や、医師による教育相談を受け

質問 事件が連続している。児童虐待を早期に発見し対処することは当然だが、未然に防止することが子育て支援策として最も重要ではないか。

市長 児童虐待の防止は、社会全体で取り組む課題としてとらえている。行政としても、虐待が起こる背景の分析や地域との連携により、未然に防止できるような力を入れたい。

市民の健康を守る

質問 市民の健康を守り、

市民の健康を守り、

市民の健康を守り、

られる体制を整えている。**質問** 現在、児童虐待件数は増加しており、痛ましい

年々増加する医療費を抑制するため、特に糖尿病など、生活習慣病に特化した取り組みを推進していただきたい。**市長** 市の健康教育事業では、来年度、糖尿病予防コースを設けることを検討している。

学校現場での、この病気の周知と対応を伺う。**教育長** 病気の早期発見・早期治療につながるため、各学校にこの病気に



「脱!メタボリアン作戦」市民講座

三浦市の教育予算

校舎の改修、避難所の設備

民主党 高橋 洋文

質問 市長は常々、三浦市は教育予算には重きを置いていると述べている。

しかし、一般会計のうち教育費の占める割合は、近隣の二市一町と比べると三浦市は最も低く、決して手厚いものとは言えないと思うが、いかがか。

市長 一般会計のうち教育費の占める割合が低いのは、農林水産業費等の構成比が高い本市の特性が要因と考える。

一方で、児童・生徒一人当たりの教育費を比べ

ると、本市の教育費は近隣市・町の中で最も高く、他に市にひけをとっていないと

大規模改修

質問 毎年、市内の小中学校から、校舎の改修に関する予算要望がされる。限られた財源の中で対応していることは理解するが、細かい部分を直しても、大もとを直さなければ根本的な解決にはならないのではないか。

市長 校舎の改修等の大規模な工事は、学校からの要望を取りまとめた上で、安全・安心の観点で

TPP交渉は断固反対

消防広域化、小学校の役割

みうら市政会 草間 道治

質問 ①三浦市農協から、議会に「TPP交渉参加

反対に関する陳情」が提出されている。市の基幹産業である農業・漁業の維持、発展のためにも、TPP（環太平洋経済連携協定）交渉参加には断固反対すべきである。

②神奈川県松沢知事がTPPに参加すべきと発言したことについて、市長の考えを伺う。

市長 ①農協から市議会に陳情が提出されたが、こうした動きは当然のことと受けとめて

いる。市としても、農協や関係団体と連携をして動きを進めたい。

②知事の発言の本意はわからないが、県内農業の一大生産地として意見を申し上げていきたい。

消防広域化の進捗

質問 消防の広域化は三浦半島の四市一町で協議が始められたが、現在、鎌倉市と逗子市が参加を見送り、葉山町も参加を検討中である。

消防指令業務の共同運用を目指しているが、横須賀市との二市になった場合はどうするのか。

市長 三浦市では、指令台の更新時期が迫っており、大きな財政負担が予想されている。共同運用は一定のメリットがあるため、横須賀市との二市でも進める考えである。

小学校のあり方は

質問 市立剣崎小学校は児童数が少なく、地域では今後のあり方が心配されている。

小学校は、地域コミュニティの拠点としての機能を持ち、その役割は非常に大きい。小

学校の適正化を検討する際は、地域住民の意見を十分に聞き、慎重な対応をしていただきたい。

市長 現在、小中学校の適正配置について検討を行っているが、小学校は地域コミュニティの拠点としての役割があるとの認識から、今回は検討の対象から外している。



剣崎小の創立100周年記念式典

可燃ごみ処理施設

観光資源の活用、APEC

フォーラムみうら 宮崎 敏一

質問 横須賀市と本市によるごみ処理広域化において、可燃ごみ処理施設は重要な施設の一つである。

可燃ごみ処理施設の建設に際し、横須賀市は、当初予定していた生ごみバイオガス化施設の導入をとりやめたが、本市のごみ処理への影響は。

市長 横須賀市は可燃ごみを全量焼却することとしたが、横須賀市が受け持つ可燃ごみ処理施設の建設等に関する基本的な

方針には変更が生じていないため、本市への影響はな

いものと考え

ている。

このプラン内容を踏まえ、県や地元などの協力をいただきながら、城ヶ島全体の整備を図ってま

二町谷埋立地を駐車場としたことで、市にも二百八十万円の収入があった。



学校に設置された防災資機材倉庫

今後、照明資機材を整備する際には、一定度の照明が確保できるように器具の導入を図りたい。

照明設備

質問 災害時に、けが人や高齢者、子供などに不安を与えないために、明かりを確保することは重要である。

市内の小中学校は災害時の避難地に指定されているが、各小中学校に備えられている投光

※脳脊髄液減少症……交通事故やスポーツ等で体に強い衝撃を受けたときに、脳脊髄液が漏れ出し減少することで慢性的に苦しむ病気。

参加反対の意思表明を

農の風景、障害者通所施設
日本共産党 石橋 むつみ

三浦市農協とも連携をして、交渉参加反対に関する意見を上げていきたい。

ショップを開催する。これらの結果は、逐次、市ホームページで閲覧できるようにしたい。

あり、作業所に通う皆様やご家族にも不安や戸惑いがあったと思う。今後、通所施設や地域作業所の現実について丁寧な説明をして理解を求め、障害者通所施設への通所を促していきたい。

質問 TPP交渉への参加に対しては、日本中で反発の渦が広がっている。

TTP参加により、農業生産や関連産業への影響とともに、自然環境や景観の保全、文化の伝承といった多面的機能が失われることが懸念される。

質問 三浦の景観は平成二十二年十月に「農の風景を考えるシンポジウム」が開かれた。

これは景観計画を進めていく中で取り組まれたものだと思うが、取り組みの経緯と、市民への返し方をお聞きしたい。

都市部長 今後、景観計画等を策定していくに当たり、意識啓発の一つとしてシンポジウムを開催している。二十三年一月からは、市民向けワーク

市長 本市は一次産業を基幹としており、TTP交渉への参加に対しては重大な懸念を抱いている。

市長 本市は一次産業を基幹としており、TTP交渉への参加に対しては重大な懸念を抱いている。

市長 本市は一次産業を基幹としており、TTP交渉への参加に対しては重大な懸念を抱いている。

市長 本市は一次産業を基幹としており、TTP交渉への参加に対しては重大な懸念を抱いている。

市長 本市は一次産業を基幹としており、TTP交渉への参加に対しては重大な懸念を抱いている。

防災・減災対策

観光振興指針、外国人観光客

公明党 佐瀬 喜代志

質問 ①三浦市地域防災計画のうち、風水害等災害対策計画の見直しを検討されているが、見直しのポイントは。

②災害が予測される場合は、早目の避難が重要である。市では、避難マニュアルの策定に向けて準備を進めているが、進捗状況は。

市長 ①実践的な計画内容とするために、避難勧告の発令基準などを明記することとした。

また、災害弱者対策の

強化として、民間の福祉施設等を新たな避難所に指定することなどを盛り込んで

行政管理局長 ②避難マニュアルは八割方完成しており、あとは災害時要援護者に対する活動内容などの詰めを残すのみとなっている。年度末までに完成をして、市民に配布したい。

指針の策定は 観光は地域活性化の切り札であり、三浦市の財政健全化に向けては、特に歳入増加策に直結するものと考えている。

多言語対応 羽田 空港の国際化に伴い、神奈川県全体で年間百四十万人の観光客の増加が見込まれている。

外国人観光客を誘致するため、英語のほか、中国語や韓国語によるホームページを作成する必要があると考えるが、いかがか。

市長 観光振興策を展開する方向性を示し、推進するための指針やビジョンを策定する必要性を感じている。今年度中には指針等の策定をしたいと考えている。

市長 中国語等でホームページを見ることができるとは、早い時期での導入を目標にしたい。

市長 現在、介護保険制度は、要介護者へのサービスに重点を置いた制度であるが、今後は介護者への支援を考えていく必要がある。

市長 市では、地域における介護・福祉・医療についての相談窓口を充実させるため、平成二十二年十月に、市内で二カ所

市長 市では、地域における介護・福祉・医療についての相談窓口を充実させるため、平成二十二年十月に、市内で二カ所

市長 市では、地域における介護・福祉・医療についての相談窓口を充実させるため、平成二十二年十月に、市内で二カ所

市長 市では、地域における介護・福祉・医療についての相談窓口を充実させるため、平成二十二年十月に、市内で二カ所



三浦の魅力を海外に発信



10月に開催されたシンポジウムの様子

学童保育クラブの設置

看護師の確保、子育て支援
みうら市政会 神田 真弓

学童保育クラブが網羅されることを目指し、財源や設置場所の問題を着実にクリアしながら進めたい。

看護師が来ると聞く。看護師確保のためには、抜本的な対策が必要ではないか。

以前より提起している、子育てに関する総合的な相談窓口を早急につくることが難しいのか。

質問 学童保育クラブについては、保護者が安心して子供たちを預けられるような環境づくりが必要である。

①市内の学童保育クラブの設置状況と今後の設置方針をお聞きしたい。

②各クラブに配置されている指導員の質の確保について伺いたい。

市長 ①現在、学童保育クラブは市内の八小学校区中、四小学校区に設置されている。

市内の小学校に対して

看護師不足 市立病院では、市のホームページ等で看護師を募集するなど、看護師確保に取り組んでいる。

質問 看護師不足に悩まない病院には、カリスマ看護師というような人材がおり、その人を頼って若い

子育て相談 子育て相談を相談するお母さんたちは、一カ所の窓口で相談が解決できないと不安を感じてしまう。

介護者への支援

認知症、地域での見守り

フォーラムみうら 北川 年一

質問 現在の介護保険制度は、要介護者へのサービスに重点を置いた制度であるが、今後は介護者への支援を考えていく必要がある。

出発点として、介護者が気軽に相談できる場を設置し、充実させていくことが必要だと思いが、本市の取り組み状況は。

市長 市では、地域における介護・福祉・医療についての相談窓口を充実させるため、平成二十二年十月に、市内で二カ所

質問 認知症は、現在の医療水準では根本的に治療することができないため、今後、認知症患者は確実に増加していく。

質問 認知症患者には、徘徊や不潔行為等の周辺症状があらわれる場合がある。

見守り体制の構築 認知症患者や高齢者を危険から守るためには、現在ある区より、さらに小さな単位での見守りが必要だと考える。

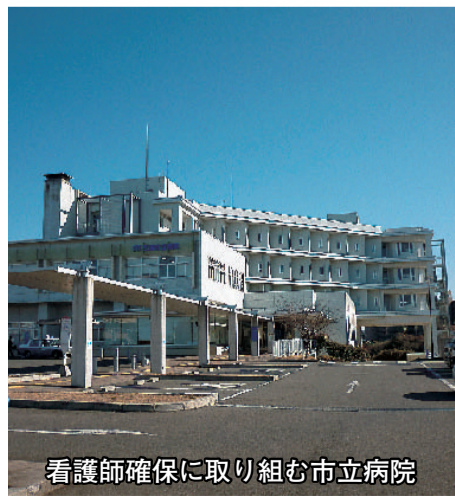
市長 本市は都市化が進んでいないので、モデル地区を定めて実践することとは、新しい試みとして大変よいことだと考える。

市長 本市は都市化が進んでいないので、モデル地区を定めて実践することとは、新しい試みとして大変よいことだと考える。

市長 本市は都市化が進んでいないので、モデル地区を定めて実践することとは、新しい試みとして大変よいことだと考える。



認知症サポーター養成講座



看護師確保に取り組む市立病院

公契約条例の制定を

市立病院、二町谷埋立地
日本共産党 小林 直樹

質問 公契約条例とは、公共事業を行う際の労働者の賃金を保障するため、発注者である自治体が条例により最低賃金を定めるものである。

質問 労働者の賃金が保障されることで、個人消費拡大による地域経済の活性化や、入札の過当競争抑制につながるかと考える。

市長 本市でも公契約条例を制定すべきと考えるが、市長の考えは。

市長 公契約条例の制定は、自治体にとって大変

重要なことであり、研究検討すべきことだと考える。

ただし、本市単独での制定では効果が限定的と感じており、経済圏を一つにしていく地域での連携が大変重要と考える。

糖尿病教育入院 糖尿病は、血糖や血圧などのコントロールをしないと、重篤化し、三大合併症である神経障害や網膜症、腎症が出てくると言われている。

質問 市立病院は、糖尿病教育入院を平成二十年九月から実施しているが、現在の状況は。

市長 市立病院は、糖尿病教育入院を平成二十年九月から実施しているが、現在の状況は。

活用方針 土地開発公社の解散により、二町谷埋立地の所有権は、土地開

病院事務長

医師から患者に入院を働きかけても、重篤化していない状況ではない。そのため、現在は外来での教育が主になっている。

今後は、糖尿病の合併症の怖さを初め、疾病の啓発に重点を置いて、意識の向上を図り、糖尿病教育入院を

実施していきたい。

質問 土地開発公社の解散により、二町谷埋立地の所有権は、土地開

発公社から市に移った。二町谷埋立地の活用について、市長の考えは。

市長 公社が土地を保有している間は、主に水産関連企業を中心に誘致活動を行ってきたが、市が土地を取得してからは、観光関連企業や健康関連企業等にも積極的に接触する姿勢で活動している。



二町谷埋立地の活用方針は

シティ・セールス

夜間照明、高さ制限の検討
みづら市政会 土田 成明

質問 本市では、官民一体となってシティ・セールスを行っており、この活動が認められて、多くの賞をいただいている。今後市長が中心となり、市の活性化のために取り組んでいただきたい。

市長 今後市長が中心となり、市の活性化のために取り組んでいただきたい。

また、三浦を盛り上げるために、市内各所で民間主導によるイベントが実施されているが、市の支援体制は。

市長 今後市長が中心となり、市の活性化のために取り組んでいただきたい。

また、三浦を盛り上げるために、市内各所で民間主導によるイベントが実施されているが、市の支援体制は。

していききたい。民間主導のイベントに対する支援としては、これまでも情報発信による集客などに取り組んでおり、今後も積極的な支援をしていきたい。

照明施設の設置 三浦スポーツ公園は本年度、本格的な供用が開始された。

質問 夜間照明を設置し、使用時間を大幅に広げて利用率を向上させることは、利用収入の増加につながるのではないかと。

市長 夜間照明施設の設置は、利用率向上に有効な手段であるが、公園周

辺への光の影響などを検討する必要がある。

また、地元の皆さんの理解をいただくことが大きな要件であり、あわせて検討したい。

建物の高さ制限 現在、本市において建物の高さ制限の議論がなされているが、その中で、三崎地区と城ヶ島地区にある工業地域等には高さのある共同住宅が建てられることになっている。

北原白秋ゆかりの景観を守るためにも、高さについては、十分に時間



三浦スポーツ公園の野球場

樹皮堆肥研究の進展は

平和行政、人工透析施設
フォーラムみづら 松原 敬司

質問 三浦市の農業が地域間競争に打ち勝つための施策として、樹皮堆肥の研究を提案している。

九月議会では、農業生産者団体を含め、県の農業技術の研究機関にも呼びかけて意見交換を図っていききたいと答弁していたが、その後の展開を伺いたい。

経済振興部長 前議会以降、生産者団体や県の研究機関等と意見交換をした中では、固形物の残留や微生物の働きなど、よ

く見なければならぬ点があるとの指摘がされた。

また、減農薬、減化学肥料に取り組み生産者グループからは、新たな技術でつくられる堆肥であれば実際に見てみたいという声も聞かれている。

平和への取り組み ①平和行政に対する三浦市の取り組みをお聞きしたい。

②十一月にシーサイド少年少女合唱団による平和コンサートが行われた。この平和コンサートに対する市長の認識は。

市長 ①六月に平和市長

現地では、映像資料などにより施設の概要等について説明を受け、その後、稼働中の施設を見学しました。

(写真は、処理棟内を見学している様子)

三浦バイオマスセンターは、浄化槽汚泥や農産物残渣などを処理・資源化する施設として設置されたもので、同センターを運営する三浦地域資源ユーズ株式会社は、三浦市等の出資により設立されています。



三浦バイオマスセンター

議会の活動から

◎三浦バイオマスセンターの視察を行いました(十一月二十九日)

平成二十二年十一月より本格稼働を開始した三浦バイオマスセンターの視察を行いました。

三浦バイオマスセンターは、浄化槽汚泥や農産物残渣などを処理・資源化する施設として設置されたもので、同センターを運営する三浦地域資源ユーズ株式会社は、三浦市等の出資により設立されています。

現地では、映像資料などにより施設の概要等について説明を受け、その後、稼働中の施設を見学しました。



三浦バイオマスセンター

ホームページのご案内

三浦市議会のホームページでは、会議録の閲覧・検索のほか、定例会の日程、議案の審議結果など、議会に関する情報がご覧いただけます。

(三浦市議会のページは、三浦市のホームページ

<http://www.city.miura.kanagawa.jp/> から)

議案番号	議案名	審議結果
議案第1号	三浦市議会定例会の開催について	議決
議案第2号	三浦市議会定例会の開催について	議決
議案第3号	三浦市議会定例会の開催について	議決
議案第4号	三浦市議会定例会の開催について	議決
議案第5号	三浦市議会定例会の開催について	議決
議案第6号	三浦市議会定例会の開催について	議決
議案第7号	三浦市議会定例会の開催について	議決
議案第8号	三浦市議会定例会の開催について	議決
議案第9号	三浦市議会定例会の開催について	議決
議案第10号	三浦市議会定例会の開催について	議決

議案等の審議結果



三浦市議会トップページ

人工透析への対応 透析患者数がふえてきている現在、三浦市立病院で宿泊型の透析を行うことを検討願いたい。



平和行政の展示ブース(みづら市民まつり)

今後、このような活動が活発に行われることを期待している。

②これからの三浦市を担う少年少女によりコンサートが行われたことは、喜ばしいことだと考える。

今後の展望の中で、人工透析に至る前の疾病予防及び悪化防止に努めたい。

今後の展望の中で、人工透析に至る前の疾病予防及び悪化防止に努めたい。

の確保や施設整備が不可欠だが、現状では対応が難しい。

長期的な展望の中で調査研究をされるとともに、

人工透析に至る前の疾病予防及び悪化防止に努めたい。

の確保や施設整備が不可欠だが、現状では対応が難しい。

長期的な展望の中で調査研究をされるとともに、人工透析に至る前の疾病予防及び悪化防止に努めたい。

本市への行政視察 (平成22年7月~12月)

Table with 3 columns: 月日 (Date), 市名 (City Name), 視察事項 (Inspection Items). Rows include inspections in Iwate, Yokohama, Kumamoto, Fukuoka, Gunma, Nagano, Shikoku, Akita, Saitama, and Okayama.

三浦市議会では、平成二十二年十一月一日、二日に都市厚生常任委員会が奈良県大和高田市及び奈良市へ赴き、先進事例を調査するための研修・視察を行いました。

○大和高田市では、大和高田市立病院を訪問し、病院改革プランによる病院運営についての研修を行いました。初めに担当者から、メデイカル・ショートステイなど、病院の経営改善につながる施策等について説明を受け、その後、病院施設の視察を行いました。



○奈良市では、奈良市役所を訪問し、小中一貫教育についての研修を行いました。小中一貫教育の実施に至った経緯や、奈良市で行う小中一貫教育の特徴などについて説明を受けました。

行政視察報告

可決した意見書 (概要)

住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める意見書

医療・年金・貧困など様々な社会不安が増大している今、国民の安心・安全を守るために行政サービスの拡充が求められている。国は「地域主権改革」の名のもとに、地方支分部局の原則廃止を行おうとしている。本市においても、既に地方法務局の出張所等の統廃合が行われ、市民は不便を強いられている。また、国立病院を初め、多種多様な事業で国民生活の安定等を支えている独立行政法人も、国は原則廃止を強行しようとしている。よって、国においては次の措置を講じるよう強く要望する。

TPP交渉への参加に反対する意見書

政府はTPP(環太平洋パートナーシップ協定)について、「関係国との協議を開始する」と閣議決定したことは極めて遺憾である。我が国は、既に世界で最も開かれた農産物の純輸入国であり、これに伴い、食料自給率は先進国の中でも最低の水準となっている。関税全廃の例外措置を認めないTPPの締結により、日本の農業そのものの維持が困難になる。輸入の増大で地域の農業生産が崩壊するとともに、関連産業は衰退し、地域の雇用も維持できなくなる。TPP交渉への参加は、国民が望む食料自給率向上への期待を裏切るものであり、政府が定めた「食料・農業・農村基本計画」をみずから否定するものである。よって、政府においては、我が国の食料安全保障と両立しないTPPの交渉には参加しないよう強く求める。

医業税制の存続と診療報酬への消費税のゼロ税率適用を求める意見書

社会保険診療は公益性が高いことから、診療報酬収入は事業税非課税とされ、保険診療収入が5,000万円以下の医療機関には、租税特別措置法第26条により概算経費率が適用されている。また、社会保険診療は、診療報酬に関わる消費税は非課税とされているが、薬剤や治療材料、医療機器等の購入に関わる消費税は、医療機関が最終消費者として負担している。国においては、地域医療を確保する観点から次の措置を講じるよう強く要望する。

安全で安心な医療・介護の実現を求める意見書

日本の医療現場は、労働環境の厳しさから離職者も多く、各地で医師や看護師等の不足が深刻化している。介護現場でも、賃金が安い、経験に応じた処遇がなされないなど、介護職員の離職率が高い。安全で安心な医療・介護を実現するためには、夜勤交替制労働者の労働条件改善と人員増が求められる。また、医療・社会保障予算の大幅増や、国民が安心して暮らしていける制度が必要である。よって、国においては次の措置を講じるよう強く要望する。

- List of council members and their party affiliations: 民主党 (Democrat Party), 公明党 (Komei Party), 日本共産党 (Japanese Communist Party), フォーラムみうら (Forum Miura), みうら市政会 (Miura City Council).

会派構成の変更

議員定数を18人↓15人に改正 議員定数条例の改正案を可決

定例会最終日に、議員提出の三浦市議会議員選挙以降は、であることが説明されました。議案第二号として「三浦市議会十五人の議員により三浦市議会の運営を行っていきます。では、松原敬司議員、小林直樹議員より、議員数が減ることによる市政のチェック機能への影響などについて、議案提出者の考えが問われました。

本議案は、次の一般選挙から、議員定数を現行の十八人から三人減の十五人とする内容になっています。したがって、四月に行われ

反対討論

フォーラムみうら 松原敬司

市民からの定数削減を求める声というのは、役割を果たさない我々の議員活動に対する批判の意見であると率直に思っている。そういう意味では、議員定数の三名削減というのは激変であると思う。

議会において、市政に対する市民の意見を表明する仕組みをきちんと配置していくべきであるという意思を込めて、反対する。

日本共産党 立本 眞須美

今、議会に求められているのは政策提案、監視能力などの充実であり、議員定数を減らして多様な市民の声を届ける入り口を狭くすることではない。

定数削減は、多くの分野や階層から議員を選出する機会を奪い、議会の役割、機能を低下させることにつながる。定数を削減し、議会の役割を狭める本議案には反対する。

賛成討論

みうら市政会 草間道治

市が行政改革を進めている中、市民からは、議員定数の削減など議会改革の推進が求められている。議員定数を三人減らすことで約二千四百万円の歳出削減ができることは、厳しい財政状況の中では極めて重要である。

次の選挙によって選ばれる議員が、その責任において能力を十二分に発揮し、議会運営に邁進することを期待して、賛成する。

公明党 藤田 昇

市は財政健全化に取り組み、特に職員数は平成十五年から二十二年までに約一七％削減している。この削減率を議員定数に当てはめると、削減数は三人が妥当である。

定数が削減されても、議員一人一人が今以上に努力して、市民の意見を集約し、市政を發展させていくことが議員の使命であると考へ、本議案に賛成する。

本会議での議案等の審議結果

番号	件名	議決状況
議案第64号	三浦市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決 全会一致
議案第65号	三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃 〃
議案第66号	三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃 〃
議案第67号	三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	〃 〃
議案第68号	平成22年度三浦市一般会計補正予算(第5号)	〃 〃
議案第69号	三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃 〃
議案第70号	三浦市消防団条例の一部を改正する条例	〃 〃
議案第71号	三浦市地域集会所施設条例等を廃止する条例	〃 〃
議案第72号	損害賠償の額の決定について	〃 〃
議案第73号	平成22年度三浦市一般会計補正予算(第6号)	〃 〃
議案第74号	平成22年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃 賛成多数
議案第75号	平成22年度三浦市老人保健医療事業特別会計補正予算(第2号)	〃 全会一致
議案第76号	平成22年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃 〃
議案第77号	平成22年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃 〃
議案第78号	平成22年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第1号)	〃 〃
議案第79号	平成22年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃 〃
議員提出議案第2号	三浦市議会議員定数条例の一部を改正する条例	〃 賛成多数
意見書案第8号	住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める意見書	〃 全会一致
意見書案第9号	T P P交渉への参加に反対する意見書	〃 〃
意見書案第10号	医薬税制の存続と診療報酬への消費税のゼロ税率適用を求める意見書	〃 〃
意見書案第11号	安全で安心な医療・介護の実現を求める意見書	〃 〃
報告第19号	専決処分報告について	報告 〃

委員会の構成

議会運営委員の構成に変更がありましたので、名簿を掲載します。
(◎は委員長 ○は副委員長)

議会運営委員会

- ◎草間道治
- ◎石原正宣
- 宮崎敏一
- 神田眞弓
- 出田眞琴
- 藤田昇
- 立本眞須美
- 四宮洋二

議事を傍聴しませんか

平成23年第1回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
2月18日	金	招集告示
22日	火	議会運営委員会(日程・審議方法等決定)
25日	金	本会議(施政方針)
28日	月	本会議(一般質問)
3月1日	火	本会議(一般質問)
2日	水	本会議(一般質問)
3日	木	総務経済常任委員会
4日	金	都市厚生常任委員会
8日	火	予算審査特別委員会
9日	水	
10日	木	
11日	金	
14日	月	財政健全化対策特別委員会
15日	火	
18日	金	本会議(委員長報告・採決)

◆お問い合わせは議会事務局へ
電話 046-882-1111 内線462・463
※請願・陳情の提出期限は2月21日(月)です。